

■ 色彩検定 3級 新旧公式テキスト 項目一覧 ■

※項目名が同じでも文章や図版、写真が改訂されている場合があります。

旧テキスト

大項目	中項目	小項目
色のはたらき	色のはたらき	
光と色	色はなぜ見えるのか？	光とは何だろう 光の性質と色
	眼のしくみ	色を見る眼のしくみ 網膜における光の処理
	照明と色の見え方	
色の表示	混色	混色とは何か？ 加法混色 減法混色 混色を応用した身近な例 混色のまとめ
	色の分類と三属性	色の分類 色の三属性 「純色」「清色」「中間色」 等色相面 色立体 表色系
	PCCS	色相 明度 彩度 三属性による色の表示 等色相面 色立体 トーン トーンのイメージ 色相とトーンによる色の表示方法
色彩心理	言葉による色表示	色名
	色の心理的効果	暖色と寒色 進出色と後退色 膨張色と収縮色 軟らかい色と硬い色 軽い色と重い色 興奮する色と沈静する色 派手な色と地味な色 色の連想と象徴
	色の視覚効果	負の残像 色対比 同化効果 色陰現象 面積効果 視覚効果のまとめと演習
色彩調和	色の知覚的効果	色の錯視
	配色の基本的な考え方	なぜ配色の学習が必要なのか？ 色相を手がかりして配色を考える
	色相から配色を考える	色相に共通性がある配色 色相にやや違いがある配色 色相に対照性がある配色
	トーンから配色を考える	トーンを手がかりにした配色 トーン共通の配色 トーン対照の配色
	配色の基本的な技法	アクセントカラー セパレーション グラデーション
色彩効果	色彩と構成	
色彩と生活	色彩と生活	生活環境と色彩 生活環境とカラーコーディネーション
ファッション	ファッションとは	服飾ファッションの視点 ファッションビジネスの世界
	ファッションと色彩	ファッションコーディネートにおける色彩 基本的なカラーコーディネート トップとボトムの配色効果 ファッションタイプとカラーコーディネート 色相を主体としたカラーコーディネート トーンを主体としたカラーコーディネート 色相とトーンを組み合わせたカラーコーディネート
インテリア	インテリアと色彩	インテリアとは 住宅インテリアの色彩
	インテリアのカラーコーディネーション	インテリアのカラーコーディネーション インテリアの配色 インテリアにおける色の心理的効果 インテリアにおける色彩検討
巻末	慣用色名(JISの慣用色名より)	
索引		
付録	PCCSカラーダイヤル	

2020年改訂版テキスト

大項目	中項目	小項目
色のはたらき	色のはたらき	
光と色	色はなぜ見えるのか？	光とは何だろう 光の性質と色
	眼のしくみ	色を見る眼のしくみ 網膜における光の処理
	照明と色の見え方	
色の表示	混色	混色とは何か？ 加法混色 減法混色 混色を応用した身近な例
	色の分類と三属性	色の分類 色の三属性 等色相面 純色、清色、中間色 色立体 表色系
	PCCS	色相 明度 彩度 三属性による色の表示 等色相面 色立体 トーン
色彩心理	色の心理効果	基本的な印象への効果 色の連想と象徴
	色の視覚効果	補色残像 色の対比 色の同化 面積効果 主観色
色彩調和	配色の基本的な考え方	
	色相を手がかりにした配色	色相を手がかりにした配色の考え方 色相に共通性がある配色 色相にやや違いがある配色 色相に対照性がある配色
	トーンを手がかりにした配色	トーンを手がかりにした配色の考え方 トーン共通の配色 トーン対照の配色
	色相とトーンを組み合わせた配色	まとまりの感じられる配色 変化の感じられる配色
	配色の基本的な技法	アクセントカラー セパレーション グラデーション
	配色演習の解答例と解説	
配色イメージ	配色イメージ	色の三属性と配色イメージ
ファッション	ファッションと色彩	ファッションコーディネートにおける色彩 ファッションにおける色彩の注意点 基本的なカラーコーディネート トップとボトムの配色効果 色相を主体としたカラーコーディネート トーンを主体としたカラーコーディネート 色相とトーンを組み合わせたカラーコーディネート
インテリア	インテリアと色彩	インテリアとは インテリアデザイン
	インテリアのカラーコーディネーション	インテリアのカラーコーディネーション インテリアに使われる色 インテリアの配色形式 配色とイメージ
慣用色名	慣用色名(JISの慣用色名より)	色の心理効果 色の視覚効果 和色名 外色名
資料	色名	
索引		
付録	PCCSカラーダイヤル	